

A-cology



Vol.21



2018. 3月発行
株式会社エービーエム
エコアクション21推進委員会 発行

今地球が悲鳴を上げている

温暖化が進むと、気温が上昇するだけでなく地球全体の気候が大きく変化します。既に世界各地では、その影響が現れ始めており、地球環境や人の暮らしにも重大な問題を引き起こしています。このまま温暖化への対策を十分に行わない場合、さらに深刻化し、地球規模の深刻な被害をもたらす危険性が指摘されています。今まさに地球が悲鳴を上げている現状をまとめてみました。

1 ホッキョクグマが絶滅の危機

夏、大陸沿岸の氷が解けはじめるため流氷が多くなり、安定した定着氷域は狭くなります。このため、ホッキョクグマは再び海が凍結するまで、北極海沿岸部の陸地で暮らさなくてはなりません。この間は食料が少なくなるため断食のような状態が続きます。その期間は3~4ヶ月で出産などが重なりと最長で8ヶ月に及びます。この季節を乗り越えるために、ホッキョクグマは新陳代謝を低く抑えて体力を温存し、春の間できるだけ多くの脂肪をとっておかなければならないそうです。



2 海面上昇により無人島5つ消滅

千近くの島と環礁から成る南太平洋のソロモン諸島。海面上昇などの影響により、数十年間で無人島が五つ消失したそうです。

3 豪州の雌ウミガメ急増！ 地球温暖化で「種の自然消滅」危機

2014年に英科学誌『ネイチャー』が、大西洋の島々で卵からかえるウミガメを調査したところ、最もオス・メスの割合の偏ったところでは、全体の93.6%がメスだったとの調査結果を発表しています。カメなどの爬虫類は孵化時の環境温度によって性別が決まる温度依存性決定(TSD)という性決定を持っており約29℃がオス・メスが50:50で生まれてくる分岐ラインと言われ、それよりも温度が高まるとメスが生まれる割合が増えると言われており、近年の地球温暖化によって砂浜の温度が上昇した結果メスウミガメが生まれる割合が高まっているそうです。

4 地球温暖化でピンチ!? 秋の味覚・ナシが無しに!

報告によると、九州で栽培されている幸水などのナシの花が咲かないことが増えており、その原因が地球温暖化にあると言われています。ナシの花芽(将来花になる芽)は、秋から冬にかけての寒さに慣れることで、凍りつかない強さを育みます。ところが、温暖化により秋から冬の気温が高くなったことで、寒さへの耐性が十分つかなくなってしまったのです。その結果、花芽が凍って枯れてしまい、花を咲かせられなくなっているそうです。

いつエコするか?



今日のECO目標

ゴミを減らすためにマイ箸を活用しよう!!

コンビニで弁当買うとき毎日のように割り箸を使っていますか? 「割り箸は間伐材だから、森林破壊にならない」という話もありますが、林野庁のデータによると実際は、97%が輸入材、大部分が中国産なのです。現在、全国で消費されている割り箸は、年間257億膳といわれています。これは2階建木造住宅に換算して、およそ2万棟分にあたる木材量です。最近、一般市民の環境への関心が高まっていることや、世界中での日本食ブームなど、さまざまな要因が考えられますが、義務感ではなく日常で気軽に、おしやれに実践できるエコなライフスタイルとして広く支持されています。漆の塗り箸、竹箸、携帯つなぎ箸など、まずは自分の好きなお箸選びをしてみませんか? たった1回使って捨てられてしまう割り箸から、マイ箸へ。それもCOOL CHOICE! (一部 ~世界が変わる~ Makuro life 参照)

1月度 環境負荷表 (対象: 本社及び南陽営業所)

項目	電力 (kwh)	灯油 (ℓ)	LPG (m)	ガソリン (ℓ)	軽油 (ℓ)	水使用量 (m)	一般廃棄物排出量 (kg)	産業廃棄物排出量 (kg)	化学物質使用量 (kg)	工場廃棄物購入率 (%)
本社	2,562	610	2	1,056	495	24	135	0	0.1	-
H28	2,404	574	1.9	1,412	335	43	70.3	0	0	72.0
増減	↓	↓	↓	↑	↓	↑	↓	→	↓	-

社有車 E-1GP 2017-2018

1月	燃費	車種	所属	先月
1位	13.6km	日産ティイ*	業務部	1位
2位	12.4km	ホンダ シャトル	設備管理部	4位
2位	12.4km	トヨタ* ロボックス	企画・人事	2位
4位	11.0km	スバルサンバー	設備管理部	3位
5位	10.1km	ホンダ 軽ワゴン	業務部	9位

大雪に見舞われた1月、トップは日産ティイ*、2位は好調トヨタ*ロボックスとホンダシャトルが同率でした。この時期では仕方ないですが、燃費も落ち着いてきて上位の差はほとんどないような状態です。暖気時間の長さで勝負が決まる、そんな感じでもあります。2月も激しいデッドヒートが予想されます。日産ティイ*が逃げ切れるのか、ホンダシャトルが勢いで抜き去るのか、はたまたロボックスやサンバー-非エコカーが追いつくのか。目が離せません。

項目	電力 (kwh)	灯油 (ℓ)	LPG (m)	ガソリン (ℓ)	軽油 (ℓ)	水使用量 (m)	一般廃棄物排出量 (kg)	産業廃棄物排出量 (kg)	化学物質使用量 (kg)	工場廃棄物購入率 (%)
営業所	679	143	2.3	164	89	16	42	0	-	-
H28	535	144	0.7	254	0	9	45.0	0	-	100.0
増減	↓	↑	↓	↑	↓	↓	↑	→	-	-

編集後記

今月のエーコロジーは「今地球が悲鳴を上げている」と題して地球温暖化によって地球で実際どんなことが起こっているかをまとめてみました。まさに待ったなしの状況であることを知っていただくことで今一度エコに真剣に向き合っていただければと考えております。ところで、毎回タイトルのイラストは季節をイメージしたイラストをチョイスしているのですが、春といったら「梅にうぐいす」ですよね。ちょっと待って、実はこの鮮やかなグリーン色の鳥は「メジロ」です。うぐいすって鳥は警戒心が強く人前に出てくることはほとんど無く、逆に「メジロ」は警戒心なく、梅の花の蜜を食べに来るそうです。では、今月も楽しくエコしましょう。

株式会社エービーエムは、環境省が定めた「エコアクション21」という環境マネジメントシステムを導入し、その認証登録をいたしました。全社員がこの「エコアクション21」への理解を深め、より楽しくエコ活動を進めていただけるように、環境活動情報をこの「A-cology (エーコロジー)」で発信してまいります。このA-cologyは児童会館ようさんだよりの裏紙を再利用して発行しております。